



学校だより

横浜市立矢上小学校

☺手をつなぎ 笑顔いっぱい 矢上っ子☺

12月号 発行日 令和5年11月30日

矢上小50周年「つなぐ つながる つなげる」

校長 岸 俊介

50周年のテーマは「つなぐ つながる つなげる」。このテーマに込めた思いは次の通りです。

【つなぐ】…いままでの矢上小の伝統を「つなぐ」

【つなげる】…矢上小を中心として人(児童・保護者の皆様・まちの皆様…)が「つなげる」。日吉というまちと「つなげる」。自然と「つなげる」

【つなげる】…次の50年・未来に「つなげる」

このテーマのもと、記念事業実行委員会の皆様が学校とともに様々な取組を企画・実施し、50周年を祝福すべく、1年以上前から活動を重ねてきました。記念事業に関する足跡の一部を記したいと思います。

■つなげる■体育館ステージ幕新調

日吉地区連合町内会様、日吉町自治会様、日吉町宮前自治会様、さかえ住宅自治会様のご厚意・ご寄付により体育館ステージ幕を新調できました。改めて感謝申し上げます。

■つなぐ・つなげる■矢上小のヒストリー動画・記念誌の作成

港北ふるさとテレビ局様のご協力のもと、矢上小の「むかし」「いま」「これから」を動画にまとめました。式典だけでなく、今後学校説明会等で使用していきます。また、記念誌(リーフレット)を実行委員の皆様が中心となり学校とともに作成しました。50周年の節目にふさわしい力作となっています。

■つなげる・つなげる■幸せ実るイエローガーデン

記念事業実行委員の皆様のお力添えのもと、50周年を記念してレモンやブルーベリーを植樹しました。「幸せ実るイエローガーデン」という名前は、卒業生が命名してくれました。イエローガーデンが人や自然とのつながりのよりどころになること、次の50年につなげるシンボルとして愛されていくことを願っています。

■つなげる・つなげる■横浜美術大学との地域連携事業

50周年を祝福するためのプロジェクションマッピング・動画を作りたいと考えた本校。横浜美術大学様の社会貢献・地域連携事業に申し込み、これを快諾いただきました。年度初めから横浜美術大学の三橋教授をはじめ学生さん達と本校6年生が「つながり」次の50年に「つなげる」新しい価値を創造してきました。

※他にも様々な取組を行ってきました。「50周年だより」を学校ホームページからご覧になっていただくと嬉しいです。
<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yagami/>



←QRコード

記念式典では今年30周年を迎えるアートユニット「明和電機」によるミニライブが行われます。明和電機との「つながり」は、横浜美術大学の三橋教授がぐださいました。教授と明和電機は芸術を通して長い「つながり」があります。私が25年近く前、明和電機のCDを手にとった思い出を教授に話したところ、「そのCDジャケットを撮影したのは自分です」という話があり驚きました。教授と校長として出会う前に、なんと25年近く前「アート」を通してすでに出会っていたのです。その後、明和電機招聘を記念事業実行委員会で検討し、ミニライブの機会に「つなげる」ことができました。

■つなげる・つなげる■明和電機

今年30周年を迎えるアートユニット。電子楽器「オタマトーン」の作者としても有名。子ども向けの発想法ワークショップなどの教育活動にも精力的。2023年Newsweek誌「世界が尊敬する日本人100」に選ばれる。最近の教育界のキーワード「STEAM教育」のAはアートのA。次の50年に「つなげる」「つなげる」新しい価値を創造する力を楽しみながら教えていただきます。

子どもたちに未来は見えません。「今ここ」の「つながり」が、子どもたちの未来を変えていくかもしれない。だからこそ、「今ここ」の出会いを、「つながり」を、子どもたちには大切にしてほしい…そんな願いもこめられています。

「つなぐ つながる つなげる」50周年記念事業を通して、子どもたちが、皆様が、互いに「つながり」笑顔に つつまれることを願っています。本校へのあふれる愛情と情熱で、「つながり」を作ってくださいました実行委員長 山田様をはじめ記念事業実行委員の皆様・50周年に協力いただいたすべての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。